

第5節 健康増進課

〔総括概要〕

健康増進課の主な事業は、救急医療対策事業、保健福祉センター及び健康福祉センターの管理運営、予防接種事業、新型コロナウイルスワクチン接種事業、健康診査事業、健康づくり事業、がん患者支援事業、すこやか子育て相談室事業、妊産婦健康診査事業、母子保健事業である。

救急医療対策事業では、初期救急医療体制及び二次救急医療体制の確保に努めるとともに、休日歯科診療を実施した。また、市有施設に配置した自動体外式除細動器（AED）を適切に管理した。

保健福祉センター及び健康福祉センターの管理運営では、栃木保健福祉センター及び藤岡保健福祉センターは直営で行い、また、大平健康福祉センター、岩舟健康福祉センター及び北部健康福祉センターは指定管理者に管理運営を委託し行った。

予防接種事業では、感染症予防及びまん延防止のため、予防接種法に基づく定期予防接種の実施、任意予防接種の接種費用の助成を行った。特に、ヒトパピローマウイルス（HPV：子宮頸がん）予防接種の積極的な勧奨の再開、HPVワクチンの接種機会を逃した方に対するキャッチアップ接種を行った。

また、国の風しん追加的対策事業として対象となる男性に対する抗体検査や予防接種の受診勧奨、及び市の単独事業として妊娠を希望する女性やその配偶者等を対象とした風しん抗体検査や麻しん風しん混合予防接種を実施した。

その他、スマートフォン等で接種間隔錯誤や接種忘れの防止が確認できる「栃木市すくすくナビ」アプリの提供を実施したほか、予診票の電子化に向けて検討を始めた。

健康診査事業では、集団検診での基本健診と各種がん検診等実施のほか、個別検診では子宮がん、乳がん、歯周病検診、高齢者歯科口腔健診及び口腔がん検診を実施した。

また、受診券等を個人別にまとめた「けんしんパスポート」及び検診の実施方法を記載した「けんしんガイドブック」を各世帯に郵送したほか、検診受診の意識を高めるため「健康マイレージ事業」を実施するなど、受診率向上に努めた。

健康づくり事業では、生活習慣病の発症・重症化予防のため、特定保健指導や運動、栄養、口腔等に関する相談及び健康教育事業を実施するとともに、包括連携協定締結企業と協力し「熱中症対策庁内連携会議」を立ち上げ、新たな熱中症対策に取り組んだ。

がん患者支援事業では、これまでの医療用ウィッグに加え、乳房補整具の購入費に対しても助成を開始したほか、若年がん患者の在宅ターミナルケアにかかる費用の助成を開始し、がん患者やその家族を支援した。

すこやか子育て相談室事業では、妊娠期から子育て期にわたるまでの母子保健や育児に関する様々な悩み等に円滑に対応するため、母子健康手帳交付及び面接、生後2週間目全戸電話相談、産後ケア、産前産後ヘルパー派遣事業等を実施した。更に、

発達障がい、虐待、DV、不登校など複合的な課題を抱える家庭に対し、関係機関との連携を図るため、すこやか子育てサポート会議や妊産婦乳児虐待予防会議を実施した。また、一体的支援の実施として、出産・子育て応援ギフト事業を令和5年1月から実施し、妊婦・子育て家庭への伴走型相談支援と経済的支援を行った。

妊産婦健康診査事業では、安心安全に妊娠期を過ごし、出産を迎えるとともに、産後の母子の心身の状態を把握するために経済的な支援を含めた、妊産婦健康診査、妊産婦歯科健康診査を実施した。

母子保健事業では、母親及び乳幼児、児童生徒の健康の保持増進を図るとともに、子育て期の孤立予防や不安の軽減を図るため、乳幼児健康診査、各種教室や相談、訪問指導、また小・中学校と連携した思春期保健教育を行ったほか、発達障がい等の早期発見、発達・育児支援を目的に乳幼児発達相談を実施した。

新型コロナウイルス感染症対策では、国が示す基本的対処方針に基づき、感染状況等に応じた基本的感染対策について、積極的な情報発信と啓発を実施するとともに、感染した際に重症化リスクの高い高齢者が集団で生活する高齢者施設等へのPCR検査を行ったほか、自宅で療養する方への日用品、食料品の支援を実施した。

また、新型コロナウイルスワクチン接種では、従来株ワクチンの接種に加え、今年度よりオミクロン株対応2価ワクチンや生後6か月から4歳の乳幼児を対象とした接種を実施した。

健康医療係

1 市民健康まつり開催事業

(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)

2 岩舟健康福祉まつり開催事業

(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)

* 令和5年3月31日付で岩舟健康福祉まつり実行委員会は解散

3 各地域での健康啓発事業

各地域におけるイベントにおいて健康啓発を行った。

(1) 第29回ふれあい健康福祉まつり (新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)

(2) ど田舎にしかた祭り

・実施日 11月27日(日)

・会場 道の駅にしかた西側の田んぼ

実施内容	設置数(枚)
健康啓発チラシ設置	100

4 献血推進事業

血液製剤の安定供給確保のため、献血事業を行った。

実施日数 (日)	受付 (人)	200ml献血 (人)	400ml献血 (人)	献血者計 (人)	不適合者 (人)
5	373	17	339	356	17

5 骨髄移植ドナー支援事業

骨髄又は末梢血管細胞を提供した方（ドナー）の負担を軽減し、骨髄移植の推進及びドナー登録者の増加を図るため、ドナーとその方の勤務する事業所に対し、助成金を交付した。

・交付実績（単位：件）

ドナー	事業所
1	1

6 保健福祉センター利用状況（利用延べ人数）

(1) 栃木保健福祉センター

（単位：人）

区 分	大会議室	検診ホール	集会室	その他	合 計
利用者数	—	14,069	511	7,473	22,053

(2) 藤岡保健福祉センター

（単位：人）

区 分	会議室	検診ホール	調理実習室	合 計
利用者数	3,558	4,000	176	7,734

7 大平健康福祉センターゆうゆうプラザ

大平健康福祉センター「ゆうゆうプラザ」の管理運営を、いすゞビルメンテナンス株式会社に委託（指定管理）し、実施した。

(1) 利用状況

・年度別利用者数

（単位：人）

年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用者数(人)	26,357	31,446	48,467

・開館日数 309日

・1日平均入場者数 156.9人

・月別内訳

（単位：人）

区分 月別	風呂	トレーニングルーム	大会議室	小会議室	大・小会議室併用	研修室1	研修室2	多目的ホール	母子指導室	調理実習室	総合計	開館日数 (日)
4	1,395	1,208	3	2	119	0	0	171	179	3	3,080	26
5	1,416	1,253	0	2	98	0	0	156	144	0	3,069	26

6	1,562	1,292	73	12	488	155	0	322	346	0	4,250	26
7	1,633	1,299	63	13	306	151	1	255	264	16	4,001	27
8	1,687	1,197	21	7	408	97	1	276	217	11	3,922	26
9	1911	1,382	0	0	483	148	2	440	349	41	4,756	26
10	555	1,432	0	8	362	109	1	409	213	26	3,115	26
11	0	1,276	65	0	370	167	2	426	240	9	2,555	26
12	1,632	1,306	0	6	496	97	2	247	253	21	4,060	25
1	2,228	1,359	17	10	297	163	1	337	239	37	4,688	24
2	2689	1,427	220	24	322	84	2	176	167	29	5,140	24
3	3,466	1,645	26	18	289	63	15	148	149	12	5,831	27
合計	20,174	16,076	488	102	4,038	1,234	27	3,363	2,760	205	48,467	309

(2) 事業実施状況（指定管理者による自主事業）

ア はじめてのヨガ（トレーニング自主事業）

開催回数 1 教室（10 回）

参加延べ人数 14 人（のべ参加者数 135 人）

イ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止したもの

・歌謡ショー

アマチュア歌手を中心とした歌謡ショー

・芸能・舞踊

ジャズ演奏、民謡や舞踊の伝統芸能ショー

・カラオケ

カラオケ大会等

8 岩舟健康福祉センター遊楽々館

岩舟健康福祉センター「遊楽々館」の管理運営を、宮ビルサービス株式会社・株式会社日本理化シェアードソリューションズ共同事業体に委託（指定管理）し、実施した。

(1) 利用状況

・年度別利用者数 (単位：人)

年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用者数	26,842	52,247	49,387

・開館日数 306日

・1日平均入場者 161.4人

・月別内訳

(単位：人)

区分 月別	風呂	トレーニングルーム	第1第2会議室	検診室	ボランティア室	親子室	調理実習室	健康相談室	生活相談室	総合計	開館日数(日)
4	2,104	426	15	130	0	2	0	0	2	2,679	26
5	2,497	872	70	66	0	3	0	0	0	3,508	27
6	2,350	876	353	381	0	7	0	0	0	3,967	25
7	2,315	906	720	720	0	14	0	0	0	4,675	25
8	2,368	826	174	169	0	4	0	0	0	3,541	26
9	2,457	922	255	419	4	9	8	0	16	4,090	26
10	2,722	946	887	584	8	8	0	0	3	5,158	27
11	2,705	870	49	175	6	3	0	0	0	3,808	25
12	2,888	840	472	538	0	5	28	0	5	4,776	26
1	2,818	896	121	322	0	0	0	0	3	4,160	24
2	3,047	926	273	135	0	7	0	0	0	4,388	24
3	3,228	938	62	373	2	34	0	0	0	4,637	25
合計	31,499	10,244	3,451	4,012	20	96	36	0	29	49,387	306

(2) 事業実施状況（指定管理者による自主事業）

ア ヨガ教室

体を鍛えながら、楽しく運動をするヨガ教室

開催回数 36回

参加延べ人数 571人

イ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止したもの

・歌謡ショー

アマチュア歌手を中心とした歌謡ショー

・伝統芸能・舞踊

太鼓、尺八等演奏、舞踊の伝統芸能ショー

・カラオケ

カラオケ大会等

・演奏会

バンドの演奏会

・郷土芸能祭り

郷土芸能祭りで円仁太鼓やお囃子の演奏

・クリスマスチャリティーバザー

9 北部健康福祉センターゆったり～な

北部健康福祉センター「ゆったり～な」の管理運営を、株式会社フクシ・エンタープライズに委託(指定管理)し、実施した。

(1) 利用状況

・年度別利用者数 (単位：人)

年 度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用者数	7,724	20,852	25,777

・開館日数 303日

・1日平均利用者数 85.1人

・月別内訳 (単位：人)

区 分 月 別	風呂	トレーニング ルーム	歩 行 用 プ ール	会 議 室	多 目 的 ホ ール	相 談 室	和 室	調 理 実 習 室	プ レ イ ル ー ム	総 合 計	開 館 日 数 (日)
4	99	796	704	10	338	0	0	0	18	1,965	26
5	109	790	729	6	34	0	0	0	52	1,720	27
6	87	759	719	161	237	0	10	18	71	2,062	25
7	117	862	785	59	471	54	2	0	91	2,441	27
8	107	851	820	50	447	43	0	0	126	2,444	27
9	122	782	764	14	234	10	0	0	24	1,950	24
10	160	844	753	67	89	50	0	23	57	2,043	24
11	161	843	798	57	384	50	0	14	69	2,376	25
12	143	848	719	24	124	0	0	0	51	1,909	24
1	176	783	708	80	208	40	8	0	65	2,068	24
2	184	928	807	14	193	0	0	0	86	2,212	24
3	154	1,082	855	8	353	0	20	0	115	2,587	26
合計	1,619	10,168	9,161	550	3,112	247	40	55	825	25,777	303

※風呂の利用者数は、単独利用者数を計上。トレーニングルーム及び歩行用プール利用者のうち定期購入者は風呂を無料で利用可としている。

(2) 事業実施状況 (指定管理者による自主事業)

ア 有料教室

開催回数 132回

参加延べ人数 858人

イ 無料教室

(ア) 歩行用プール利用者が施設使用料のみで参加できる教室

開催回数 69回

参加延べ人数 80人

(イ) トレーニングルーム利用者が施設使用料のみで参加できる教室

開催回数 88回

参加延べ人数 220人

- ウ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止したもの
 - ・プレイルームへのプレイリーダー配置

10 救急医療対策事業

(1) 初期救急医療

栃木地区急患センター

- ・管理運営 一般社団法人 下都賀郡市医師会（指定管理者）

ア 休日・夜間診療

- ・診療時間 休日（日曜日・祝日・年末年始）…午前9時～午後 9時 内科
 午前9時～午後 5時 外科
 午後6時～午後 9時 小児科
 平日（月曜日～土曜日）……………午後7時～午後10時 内科

日数（日）	延べ患者数（人）
365	4,390

イ 小児救急医療

- ・診療時間 日曜日 午後6時～午後9時

日数（日）	延べ患者数（人）
70	870

(2) 二次救急医療

ア 病院群輪番制病院運営等補助事業

病院群輪番制に参加する2病院（とちぎメディカルセンターしもつが、獨協医科大学病院）に対し、その運営を支援するため補助金を交付した。

利 用 施 設	日数（日）	延べ患者数（人）
病院群輪番制病院(2病院)	365	7,516

栃木医療圏の救急告示病院（藤沼医院、多島外科胃腸科、とちぎメディカルセンターとちのき）に対し、二次救急を確保するため、救急車受入件数に応じ補助金を交付した。

利 用 施 設	件数（件）
救急告示病院（3施設）	309

イ 小児二次救急医療

小児二次救急医療機関に対し、その運営を支援するため補助金を交付した。

利 用 施 設	日数（日）	延べ患者数（人）
獨協医科大学病院	365	1,420

11 地域医療対策基金積立事業

（単位：円）

令和3年度末現在高	積立金額	繰出金額	令和4年度末現在高
20,365,296	0	0	20,365,296

12 とちぎメディカルセンター運転資金貸付事業

- ・貸付名称 とちぎメディカルセンター運転資金貸付金
- ・用途 とちぎメディカルセンターが開設するしもつがの運営に要する運転資金
- ・貸付金額 5億円
- ・貸付期間 4月1日から3月31日

13 自動体外式除細動器（AED）貸出事業

市内で開催される各種行事において、参加者が心肺停止状態に陥った際の救急救命活動に備えるため、主催する団体へ自動体外式除細動器（AED）の貸出しを行った。

- ・貸出申請件数 23件

14 自動体外式除細動器（AED）整備事業

市内公共施設及びコンビニエンスストアに設置されているAEDを適切に管理した。

- ・市内公共施設（貸出用含む） 97台
- ・市内コンビニエンスストア 10台

15 休日歯科診療実施事業

ゴールデンウィークやお盆、年末年始の歯科医院が休診となる長期休暇中でも、歯科救急患者が診療を受けることができるよう、休日歯科診療を実施した。

- ・一般社団法人 下都賀歯科医師会による市内歯科医院の輪番制

実施期間（日数）	受診者数（人）
5月1日、3日～5日（4日間）	12
8月13日～15日（3日間）	12
12月30日～1月3日（5日間）	57

16 栃木市病院等電気料等高騰対策事業

物価の高騰の影響を受けた市内に存する病院等を運営する者に対し、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して病院等の運営に要する電気料等の一部を補助した。

医療機関数（箇所）	補助金額（円）
6	20,502,504

予防係

1 予防接種事業

(1) 定期接種

ア ヒブ感染症

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施

- ・対 象 生後2月から生後60月に至るまでの間にある者
- ・回 数 (開始月齢により異なる。)
 生後 2月から 7月に至るまで：4回 (初回3回、追加1回)
 生後 7月から12月に至るまで：3回 (初回2回、追加1回)
 生後12月から60月に至るまで：1回

・接種状況

	勧奨対象者数 (人)	被接種者数 (人)	接種率 (%)
初回 1回目	735	746	101.5
初回 2回目		754	102.6
初回 3回目		718	97.7
追加		798	108.6

イ 小児の肺炎球菌感染症

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対 象 生後2月から生後60月に至るまでの間にある者
- ・回 数 (開始月齢により異なる。)
 生後 2月から 7月に至るまで：4回 (初回3回、追加1回)
 生後 7月から12月に至るまで：3回 (初回2回、追加1回)
 生後12月から24月に至るまで：2回
 生後24月から60月に至るまで：1回

・接種状況

	勧奨対象者数 (人)	被接種者数 (人)	接種率 (%)
初回 1回目	735	747	101.6
初回 2回目		753	102.4
初回 3回目		721	98.1
追加	834	785	94.1

ウ B型肝炎

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対 象 1歳に至るまでの間にある者
- ・回 数 3回
- ・接種状況

	勧奨対象者数 (人)	被接種者数 (人)	接種率 (%)
1回目	735	744	101.2
2回目		739	100.5
3回目		700	95.2

エ BCG (結核)

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施

- ・対象 1歳に至るまでの間にある者
- ・回数 1回
- ・接種状況

勧奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
735	709	96.5

オ 四種混合（ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ）

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 生後3月から生後90月に至るまでの間にある者
- ・回数 1期初回 20日以上の間隔で3回
1期追加 1期初回終了後、約1年～1年半経過した時期に1回
- ・接種状況

	勧奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
1期初回 1回目	735	756	102.9
1期初回 2回目		728	99.0
1期初回 3回目		716	97.4
1期追加		786	106.9

※三種混合（ジフテリア・百日せき・破傷風）の被接種者数 3人

カ 急性灰白髄炎（ポリオ）

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 生後3月から生後90月に至るまでの間の、ポリオワクチン接種の必要回数（4回）を終了していない者
（生ポリオ2回終了した者は除く）
- ・回数 1期初回 20日以上の間隔をおいて3回
1期追加 1期初回終了後、約1年～1年半経過した時期に1回
- ・ポリオは四種混合に含まれているため、接種が必要となる場合は、三種混合を受けていた場合のみ
- ・接種状況 接種者なし

キ 麻しん・風しん（混合）

(ア) 1期

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 生後12月から生後24月に至るまでの間にある者
- ・回数 1回
- ・接種状況

勧奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
834	790	94.7

(イ) 2期

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 5歳～7歳未満の者で、小学校就学の始期に達する日の1年前の日から当該始期に達する日の前日までの間にある者（幼稚園・保育園等の年長児相当）
- ・回数 1回
- ・接種状況

勧奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
1,158	1,087	93.9

ク 水痘

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 生後12月から生後36月に至るまでの間にある者
- ・回数 3月以上の間隔をおいて2回
- ・接種状況

	勧奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
1回目	834	801	96.0
2回目		670	80.3

ケ 日本脳炎

(ア) 1期初回

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 生後6月から生後90月に至るまでの間にある者及び予防接種法で定める特例対象者
- ・回数 6日以上の間隔で2回
- ・接種状況

	勧奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
1回目	924	945	102.3
2回目		938	101.5

(イ) 1期追加

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 1期初回接種終了後おおむね1年経過した生後90月未満の者及び予防接種法で定める特例対象者
- ・回数 1回
- ・接種状況

勧奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
924	1,316	142.4

(ウ) 2期

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 9歳以上13歳未満の者及び予防接種法で定める特例対象者で、1期接種3回を終了している20歳未満の者
- ・回数 1回
- ・接種状況

勧奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
996	1,816	182.3

コ 二種混合（ジフテリア・破傷風）

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 11歳以上13歳未満の者（小学校6年生）
- ・回数 1回
- ・接種状況

勧奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
1,249	1,003	80.3

サ ヒトパピローマウイルス感染症（子宮頸がん予防）

(ア) 定期接種

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 小学校6年生から高校1年生相当年齢の女子
- ・回数 3回
- ・接種状況

	勧奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
1回目	2,524	339	13.4
2回目		315	12.5
3回目		257	10.2

(イ) キャッチアップ接種

- ・実施期間 通年（令和7年3月31日まで）
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 平成9年4月2日から平成18年4月1日生まれの女性
- ・回数 3回
- ・接種状況

	勧奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（％）
1回目	4,536	448	9.9
2回目		375	8.3
3回目		202	4.5

シ ロタウイルス感染症

- ・実施期間 通年

- ・接種方法 協力医療機関で個別実施

(ア) 1価ワクチン

- ・対象 生後6週から生後24週までの間にある者の希望者
- ・回数 4週間以上の間隔をおいて2回

(イ) 5価ワクチン

- ・対象 生後6週から生後32週までの間にある者の希望者
- ・回数 4週間以上の間隔をおいて3回
- ・接種状況

		勧奨対象者数（人）	被接種者数（人）
1価	1回目	735	692
	2回目		682
5価	1回目		41
	2回目		48
	3回目		50

- ・接種率 1回目 99.7%
- 2回目 99.3%

ス 高齢者インフルエンザ

- ・実施期間 10月1日～2月28日
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 ①65歳以上の希望者
②60歳から65歳未満の者であって、心臓・腎臓・呼吸器の機能に自己の身の日常生活行動が極度に制限される程度の障がいや有する者及びヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障がいや有する者で、接種を希望する者
- ・回数 年度内1回
- ・助成額 3,500円
- ・接種状況

対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（%）
50,156	30,707	61.2

（対象者数は65歳以上の人数）

セ 高齢者の肺炎球菌感染症

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 ①年度末年齢65歳の希望者
②接種時に60歳から65歳未満の者（高齢者インフルエンザと同じ）
③年度末年齢70、75、80、85、90、95、100歳の希望者
※過去に接種歴のある者は対象外
- ・回数 生涯1回
- ・助成額 5,700円

・接種状況

(7) 対象者中①に該当する者

勸奨対象者数 (人)	被接種者数 (人)	接種率 (%)
2,018	817	40.5

(イ) 対象者中②及び③に該当する者

被接種者数 (人)
85

ソ 風しん追加的対策

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施、集団検診・職場検診で集団実施
- ・対象 昭和37年4月2日から昭和54年4月1日に生まれた男性で、抗体検査及び予防接種を受けたことがない者
- ・回数 抗体検査、予防接種ともに生涯1回
- ・実施状況

	勸奨対象者数 (人)	実施数 (人)	実施率 (%)
抗体検査	12,490	587	4.7
予防接種		184	1.5

(2) 任意予防接種

ア 小児インフルエンザ

- ・実施期間 10月1日～2月28日
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 生後6月から小学校2年生までの小児の希望者
- ・回数 年度内に2回まで
- ・助成額 1回あたり2,500円
- ・延べ被接種者数 7,535人

イ おたふくかぜ

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 生後12月から小学校就学前の小児の希望者
- ・回数 生涯2回
- ・助成額 3,600円
- ・延べ被接種者数 1,406人

(3) 風しん予防対策事業

- ・実施期間 通年
- ・接種方法 協力医療機関で個別実施
- ・対象 次のいずれかに該当する方
 - ①妊娠を希望している女性およびその配偶者
 - ②妊娠している女性の配偶者

ア 風しん抗体検査

- ・回数 1回
- ・助成額 2,000円
- ・受診者数 7人

イ 風しん予防接種

- ・回数 1回
- ・助成額 3,000円
- ・被接種者数 5人

ウ 麻しん風しん混合予防接種

- ・回数 1回
- ・助成額 5,000円
- ・被接種者数 113人

2 とち介の予防接種ナビ（すくすくナビ）事業

- ・登録者数 6,155人

3 新型インフルエンザ等対策事業

新型インフルエンザ等が大流行した場合に必要な備蓄品の管理及び補充

健康づくり係

1 健康増進計画推進事業

(1) 重点領域の推進

6つの重点領域（①栄養・食生活②身体活動・運動③喫煙④こころの健康⑤歯と口の健康⑥健康診査・検診）ごとに、ライフステージ別、関係機関別に取組を行い、関係機関と連携し健康づくりを推進した。

ア 関係機関

健康増進計画推進部会員（保健医療、福祉、教育関係団体、公募による者等）
及び庁内ワーキング構成員

イ 主な取組

- ・脳卒中予防に関する出前講座の実施、普及啓発
- ・野菜摂取・減塩促進のための動画を作成し配信
- ・季節毎に野菜を使ったレシピを作成し、市内直売所等に設置
- ・食生活改善推進員協議会活動の推進
- ・とちぎハート体操の普及啓発
- ・ちょこっとウォーク～スニーカービズ～の実施
- ・プロスポーツチームと連携した運動教室の開催
- ・妊婦や未成年に対する受動喫煙を無くすための普及啓発
- ・禁煙相談機関の周知
- ・こころの健康相談、こころの健康サポーター研修会等の実施
- ・こころの健康に関する相談窓口を掲載したポケットティッシュの配布

- ・歯周病予防の動画の普及啓発、出前講座の実施
- ・歯と口に関する相談会の開催
- ・健康診査・検診の実施

ウ 健康増進計画推進部会及び庁内ワーキング合同会議

重点6領域のうち、「歯と口の健康」「こころの健康」に関する取組について、栃木市健康増進計画推進部会員、庁内ワーキング推進員と検討し取り組んだ。

- ・実施内容

月日	参加数	内容
第1回 8月	書面開催	・「歯と口の健康」についての意見収集
第2回 2月16日	22名	・栃木市自殺対策計画について ・計画の推進期間及び数値目標、取組状況について ・自殺の現状について ・グループワーク「こころの健康を取り巻く課題について」

(2) 健康都市宣言の普及啓発

「あったかもちぎ健康都市宣言」の周知のため、各総合支所や公民館へのパネルの設置、懸垂幕やのぼり旗の設置、子育て世代への普及啓発として、9か月児健診の際に保護者に対してチラシの配布を実施した。また、健康増進普及月間には電光掲示板8か所で周知した。

(3) 事業所と連携した生活習慣病予防事業

市内事業所と連携しながら、従業員を対象に壮年期の課題を含めた健康づくり事業を実施した。

ア 事業所への健康通信の送付

- ・回数 4回
- ・送付先 栃木市企業連絡協議会加入事業所 44社
栃木商工会議所、大平町商工会、藤岡町商工会、都賀町商工会、西方町商工会、岩舟町商工会
栃木地域産業保健センター

イ 生活習慣病予防講座の実施

- ・回数 2回
- ・参加者延べ数 99人
- ・実施内容 講話（栃木市の現状・生活習慣病予防・栄養・運動・禁煙・口腔）

ウ ウェルワークとちぎ会報への記事掲載

- ・回数 6回

2 健康診査事業

(1) 集団検診実施状況

- ・集団検診実施回数 103回
- ・集団検診実施場所 各保健センター、各公民館等

(2) 基本健診受診者数

(単位：人)

健診区分	特定健康診査(国保)	特定健康診査(社保等)	後期高齢者健康診査	ヤング健康診査	健康診査	合計
集団	6,617	1,699	2,943	1,113	45	12,417
個別	1,161	-	1,732	-	-	2,893
合計	7,778	1,699	4,675	1,113	45	15,310

(3) がん検診等事業

ア がん検診

区分	実施回数(回)	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	異常なし(人)	要精検(人)	精検不要(人)	判定不能(人)
胃がん	101	47,963	5,354	11.2	3,475	362	1,517	-
肺がん	103	47,963	11,355	23.7	6,910	457	3,988	-
大腸がん	103	47,963	10,793	22.5	10,301	492	-	-
前立腺がん	72	17,932	4,202	23.4	3,835	367	-	-
子宮がん(頸)	102	32,055	4,714	22.6	4,595	81	38	-
	(医療機関)		2,537		2,413	90	34	-
子宮がん(体)	(医療機関)	32,055	741	2.3	736	5	-	-
乳がん	102	30,509	6,327	21.4	3,276	287	2,764	-
	(医療機関)		210		150	21	39	-

イ 肝炎ウイルス検診

区分	受診者数(人)	要精検(人)
B型	1,154	5
C型	1,142	-

ウ 骨粗しょう症検診

対象者(人)	受診者(人)	受診率(%)	結果内訳(人)		
			正常範囲	要指導	要精検
13,196	1,561	11.8	866	554	141

エ 胃がんリスク検査(ABC検査)

対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	異常なし(人)	要精検(人)			
			A群	B群	C群	D群	
14,204	684	4.8	528	70	71	15	

オ 歯周病検診・高齢者歯科口腔健診

区分	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	異常なし(人)	要指導(人)	要精検(人)
歯周	20,870	1,286	6.2	50	164	1,072
高齢	2,257	351	15.6	203	61	78

カ 口腔がん検診

対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	異常なし(人)	口腔がん所見(人)	他の所見(人)

81,840	994	1.2	942	3	44
--------	-----	-----	-----	---	----

3 けんしんパスポート、けんしんガイドブック送付事業

受診率向上のため、個人ごとに受診券や無料クーポン券などをまとめた「けんしんパスポート」を、世帯に一冊の集団検診日程や内容、予約方法などを記載した「けんしんガイドブック」とともに送付した。

- ・対 象 20歳以上の全市民
- ・発送時期 5月下旬
- ・対象者数 133,634人 66,299世帯
- ・集団検診予約受付

予約方法	電話・窓口	ファックス	インターネット	合計
受付数(件)	11,628	464	6,523	18,615
割合(%)	62.5	2.5	35.0	

4 健康マイレージ事業

市民が自らの健康保持増進に関心を持ち、健(検)診の受診や健康づくりに積極的に取り組むためのインセンティブとして、健康マイレージ事業を実施した。

- ・対 象 20歳以上の全市民
- ・実施方法 けんしんパスポートに、ポイントカード及び参加方法の説明を綴り、全対象者に配布
参加者全員にサポートカードを発行(サポート店:40件)
参加者は寄附または抽選を選択できる。
寄附を選択の場合は、市立小・中学校PTAへ1,000円の寄附となる。
抽選を選択の場合は、当選者に記念品を送付する。

- ・参加状況及び抽選結果 (単位:人)

区 分	参加者数	記念品当選者数	寄附	商品券当選者数
男 性	256	165	21	41
女 性	416	290	24	59
合 計	672	455	45	100

- ・当選者に対してマイレージ事業についてのアンケート送付

- 対 象 参加者600人
- 回 収 件 371人
- 回収率 % 61.8%

5 健康づくり事業

(1) 特定保健指導等事業

特定健診受診者に対し、内臓脂肪型肥満に着目した生活習慣の改善のため、運動・栄養等の保健指導を行った。

- ・会場 各保健センター

ア 特定保健指導

・実施状況

区 分	対象者（人）	利用者（人）	利用率（％）
積極的支援	191	77	40.3
動機付け支援	694	258	37.2
合計	885	335	37.9

イ 健診結果説明会

健診結果と生活習慣の改善方法を理解することを目的とし、説明会（個別指導）を行った。

- ・参加者数 165人

(2) 糖尿病性腎症重症化予防事業

糖尿病重症化予防を目的とし、保健指導を行った。

ア 保健指導（外部委託）

- ・対象者 国民健康保険加入者又は後期高齢者医療制度加入者（75～79歳）の糖尿病性腎症第2～4期の病期にある者（人工透析移行のリスクが高い者）
- ・実施状況 個別指導5回、集団指導（運動療法）1回
- ・プログラム終了者数 国民健康保険加入者 13人
後期高齢者医療制度加入者 4人

イ 糖尿病予防教室～入門編～

- ・対象者 特定健診結果で糖尿病境界域段階の者
- ・会場 栃木保健福祉センター、大平健康福祉センター
- ・回数 じっくり学べるコース 4回1コース（年4コース）
ちょこっと学べるコース 1回1コース（年2コース）
- ・参加者延べ数 じっくり学べるコース 176人
ちょこっと学べるコース 34人

ウ 糖尿病予防教室～応用編～

- ・対象者 令和3年度糖尿病予防教室～入門編～受講者
- ・会場 栃木保健福祉センター、大平健康福祉センター
- ・回数 1回1コース（年3コース）
- ・参加者数 27人

(3) 肝炎ウイルス陽性者フォローアップ事業

肝炎ウイルス検査で陽性と判定された者のうち、同意が得られた者に対し、年に1回調査票の送付等を行い、医療機関の受診状況や診療状況の確認と、必要に応じて電話等による受診勧奨を行った。

年 度	対象者（人）	同意者（人）	継続フォロー者（人）	終了者（人）
令和4年度	5	4	26	2
令和3年度	9	3	25	6

(4) 健康教育

ア 健康あっぷ講座

前年度コロナで延期となった市内事業所で開催した。

歯周病と生活習慣病との関連性について歯科医師が講話をし、次いで口腔ケアの重要性と、日常的に口腔内を清潔に保つ方法について歯科衛生士が講話をした。

回数（回）	参加数（人）
1	95

イ 中学校における歯と口の出前講座

中学生を対象に、歯と口の健康についての講話とブラッシング指導を行った。

学校数（校）	対象者（人）
4	491

ウ 出前講座

地域や団体に対し、健康教育を行った。

区 分	回数（回）	参加者延べ数（人）
ロコモ	6	94
口腔	4	74
けんしん	0	0
脳卒中	7	109
熱中症	4	81
合 計	21	358

(5) 健康相談・栄養相談・禁煙相談

心身の健康に関する個別の相談に応じ、保健師・管理栄養士が必要な指導及び助言を行った。

・相談者延べ数 16人

(6) 病態別栄養指導

医療機関と連携し、管理栄養士が個別に慢性疾患の病態に応じた栄養指導を実施し、疾病の早期回復を図った。

・実施回数 15回

・相談者延べ数 15人

・指導内容(延べ件数) (単位：件)

糖尿病	高血圧	脂質異常症	腎臓病	その他	計
13	10	5	5	12	45

(7) 脳卒中啓発プロジェクト

脳卒中予防に関するチラシを特定保健指導、健診結果説明会、糖尿病予防教室で配布した。

・配布数 420枚

(8) 熱中症対策

庁内各課及び庁外関係機関、事業所等と連携を図り、熱中症予防に対する普及啓発、注意喚起を実施した。

ア 普及啓発

・暑さ指数を活用した熱中症注意情報の掲示

- ・関係各課・機関におけるチラシ等の配布及びポスターの掲示
 チラシ配布数 12,100枚、県作成リーフレットの配布数 1,300枚
 ポスターの掲示 141か所
- ・広報とちぎやSNS、マスメディアの活用、市道電光標示板、のぼり旗による普及啓発
- イ 防災無線放送を活用した注意喚起（期間：5月16日（月）～10月26日（水））
 ・熱中症警戒アラート発表時 12回
 ・盛夏期における週末の注意喚起 7回
- ウ 熱中症対策庁内連携会議の開催 2回
- エ 包括連携協定事業所との連携による普及啓発

6 自殺予防対策事業

(1) こころの健康相談

こころの悩みの軽減及び自殺予防を図るため、カウンセラーによるうつ、ストレス、不眠等のこころの健康相談を実施した。

- ・会場 栃木保健福祉センター、大平健康福祉センター
- ・実施回数 22回
- ・相談人数 相談実数 39人、相談延べ数 53人

(2) こころの健康サポーター(ゲートキーパー)養成研修

こころの健康サポーター(ゲートキーパー)の役割を理解することで、こころの悩み・サインに気づき、自殺予防を図ることを目的に、研修会を実施した。

- ・実施回数 5回
- ・参加者延べ数 218人

(3) 自殺予防普及啓発キャンペーン（県共催）

自殺予防等の正しい知識の普及啓発と身近な相談機関の周知を図るため、自殺予防の啓発グッズと相談窓口カードを設置した。

- ・設置場所 図書館、スーパー、ドラッグストア、コンビニエンスストア、高齢者福祉センター、コロナワクチン接種会場
- ・配布数 1,500個

(4) メンタルヘルスチェックシステム「こころの体温計」

パソコンや携帯電話を利用して、自分のこころの健康状態をチェックし、気軽に相談できる窓口を知ること、こころの疾患の早期発見・早期予防につなげることを目的に、こころの健康状態がわかるメンタルヘルスチェックシステムを市のホームページに設置した。

- ・アクセス数 25,475件

(5) 自殺対策調整会議

栃木市いのち支える自殺対策計画を推進し、自殺を未然に防ぐため、調整会議を設置し、関係機関との連携強化を図った。

ア 参加者

保健医療・福祉・教育・労働等に関わる団体の代表者及び行政機関の担当職員等

イ 会議開催

開催日	参加数（人）	内容
第1回 11月8日	14	<ul style="list-style-type: none"> ・ 栃木市いのち支える自殺対策計画及び進捗状況について ・ 栃木市の自殺の現状について ・ 自殺対策体制について
第2回 2月21日	15	<ul style="list-style-type: none"> ・ 栃木市の自殺の現状について ・ 事例提供及び意見交換 <ol style="list-style-type: none"> 1. 自殺予防の考え方 2. 栃木市消防本部からの不搬送事例の提供 3. 大平下病院からの事例提供 ・ 相談窓口チラシと確認シートについて

7 地域保健対策推進事業

(1) 栃木市健康づくり推進会議

市民の生涯を通じた健康の実現を目指し、市民一人ひとりの主体的な健康づくり活動に関係機関、関係団体、行政等が協働して支援し、住民に密着した総合的な健康づくり対策事業を推進するため、会議を実施した。

ア 関係機関

保健医療、福祉、教育関係団体、公募による者等

イ 会議開催

月日	内容
第1回 8月 書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・ 栃木市保健事業概要について ・ 栃木市健康増進計画推進期間の延長について ・ 新型コロナウイルスワクチン接種について
第2回 1月 書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・ 栃木市出産・子育て応援ギフト事業について

(2) 食生活改善事業

食生活改善推進員（103人）が、地域における食生活改善推進のため、個別訪問活動を中心に普及啓発を行った。また、会員相互の連携及び交流を図るため、支部やグループ活動を実施した。

ア 栃木市食生活改善推進員協議会活動

・ 実施状況

区分	内容	実施回数 (回)	会員 参加者数 (人)	一般 参加者数 (人)	
事業	配布	生涯骨太クッキング事業	随時	41	-
	講習会	生活習慣病予防教室関係	1	6	33

	生涯骨太クッキング事業	1	5	13
	男性のための料理教室	1	4	25
会議	総会	1	68	-
	理事会	3	25	-

イ 栃木市食生活改善推進員協議会支部及びグループ活動

・実施状況

内容	実施回数（回）	会員参加数（人）
支部活動	4	118
グループ活動	35	217

(3) 自主グループ活動支援

自主的な健康づくり活動の支援を行った。

- ・団体数 3団体
- ・実施回数 78回
- ・参加実数 103人

8 がん患者支援補助金

(1) がん患者アピアランスケア支援補助金交付事業

がん患者アピアランスケア支援(外見の変化を補完し、外見の変化に起因するがん患者の苦痛を軽減する支援)として、がん患者の補整具の購入に要する経費の一部を補助することにより、当該がん患者の心理的及び経済的な負担を軽減するとともに、療養生活の質の向上を図った。

・交付実績

医療用ウィッグ

(単位：人)

区分	20代未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
男	-	-	-	-	-	2	-	-	2
女	1	-	5	10	17	17	15	4	69
合計	1	-	5	10	17	19	15	4	71

乳房補整具

(単位：人)

区分	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
合計	-	-	5	2	1	6	-	14

・交付額 医療用ウィッグ 2,015,200円

乳房補整具 236,600円

(2) 若年がん患者の在宅ターミナルケア支援補助金交付事業

若年がん患者のターミナルケア支援(医師が一般に認められている医学的知見に基づき、回復の見込みがない状態に至ったと判断した18歳以上40歳未満のがん患者に対する在宅療養生活の支援)として、若年の末期がん患者の在宅療養に要する経費の一部を補助することにより、当該患者及びその家族の経済的負担を軽減するとともに、在宅療養生活の質の向上を図る。

・交付実績

申請 2件
 交付額 37,503円

9 地域看護

- ・妊産婦、乳幼児、成人宅等を訪問し、健康相談及び生活指導等を行った。
- ・訪問指導数 2,480人
- ・内訳（延べ人数）

（単位：人）

妊産婦	新生児	未熟児	乳幼児	小児慢性 特定疾患	精神 保健	生活 習慣病	他の 疾患	その他
1,066	76	21	1,161	4	34	31	1	86

※その他：小学生、中学生、高校生、その他学生、成人等に対するものを計上

子育て世代包括支援センター係

1 すこやか子育て相談室事業

(1) 妊娠届出の受理及び母子健康手帳の交付（各総合支所分を含む）

母子保健法に基づき、妊娠届出の受理を行い、妊娠、出産、育児に関する母子の健康状態を一貫して記録し、健康管理に役立てるため、窓口において母子健康手帳の交付を行った。母子手帳交付者及び転入の妊婦に対して、妊娠・出産についてのアンケート及び個別面接を実施し、妊婦の状態把握に努めるとともに、必要に応じて相談対応を行った。また、リスクアセスメントシートをもとに係内で要支援ケースカンファレンスを実施し、特に支援が必要な妊婦への支援方針を検討し安心して出産が迎えられるよう支援した。

・受理及び交付状況

（単位：人）

妊娠届出数	母子健康手帳交付数				
	妊娠届出	双胎	紛失等	海外からの転入	
724	757	724	12	17	4

転入の妊産婦 63人

- ・要支援ケースカンファレンス実施回数 50回
- ・要支援ケースカンファレンス検討者数 317人

(2) 低体重児の届出・未熟児訪問指導

体重が2,500グラム未満の児を出産、または妊娠37週より前に早産した場合は、保護者からの届出を受け、保健師や助産師等が家庭訪問を実施し、児の発達状況や家庭環境に応じた適切な養育指導を行った。

- ・届出数 79件
- ・訪問件数(延べ) 89件

(3) 新生児・産婦訪問指導

新生児期の子育ての悩みや不安及び母親の心身の不安に対して助言指導するために、

保健師や助産師等による訪問指導を行った。

- ・訪問実数 52件
- ・訪問延数 68件

(4) 産前産後サポート支援

ア 若年妊産婦支援

10代の若年妊産婦は、出産や育児の情報不足、経済問題、支援の繋がりにくさなど複数の課題を抱えていることが多い。そのため、妊娠中から安全な出産、安心して子育てができるよう、電話面接、訪問、個別教室などの支援を実施した。

- ・支援件数：10件

イ 多胎妊産婦支援事業

身体的リスクが高く、産後における育児等の負担が大きい多胎妊産婦に対し、早い時期から必要な情報を提供するとともに、多胎育児経験者による家庭訪問や交流会を実施し、不安軽減と孤立予防を図った。

- ・ツインプレパママ教室（多胎児出産準備教室）

実施数：7組

- ・ピア家庭訪問（多胎育児経験者家庭訪問）

訪問回数：妊婦7人、産婦5人

- ・makingツインプレパママ教室（多胎児家庭交流会）

実施回数：3回

参加延べ人数：51人

参加組数：17組（多胎家族 13組、妊婦家族 4組）

ウ 産前産後ヘルパー派遣事業

多胎妊産婦や日中支援者がいない妊産婦に対し、ヘルパーを派遣し家事や育児の負担軽減を図った。

- ・利用状況

単胎		双胎	
利用者数 (人)	利用回数 (回)	利用者数 (人)	利用回数 (回)
16	215	2	6

(5) 産後ケア事業

産後も安心して子育てができる支援体制を確保するため、産後1年未満で支援を必要とする母子に対し、心身のケア、育児のサポート等を行う産後ケア事業を実施した。

- ・利用状況

短期入所型		通所型		居宅訪問型	
実人数 (人)	延べ利用回数 (回)	実人数 (人)	延べ利用回数 (回)	実人数 (人)	延べ利用回数 (回)
27	46	5	8	134	305

(6) 健康相談・支援

ア 生後2週間目全戸電話相談

出産を終え、退院後の不安を抱きやすい時期に、子育てや母親の心身等の不安に対して助言指導するために、保健師及び助産師による電話相談を行った。

- ・対象者数 737人
- ・実施数 731人
- ・実施率 99.2%

イ 子育てサポートプランの作成

複合的な課題を抱える家庭に対して、関係機関と支援の方法や支援体制を共通理解し、継続的に支援が行えるよう、プランを作成した。

- ・作成数 9件(幼児：2件 学童以上：7件)

(7) 関係機関との連携

ア すこやか子育てサポート会議

複合的な課題を抱える家庭に対して、関係機関と連携して支援していくために、情報交換及び支援方針等の検討を行った。

- ・開催数 19回
- ・検討世帯数(延べ) 21件

イ 妊産婦乳児虐待予防会議

妊娠届時や妊産婦訪問、生後2週間目全戸電話相談等で、支援が必要な妊産婦に対し、虐待の危険性の有無を判断し、今後の支援方針等の検討を行った。

- ・開催数 10回
- ・検討世帯数(延べ) 11回

2 妊産婦健康診査事業

(1) 妊産婦健康診査

妊産婦の健康診査の一層の徹底と経済的支援を図るため、1人につき妊婦健康診査14回(多胎妊婦は19回)と産婦健康診査2回の受診票を交付し、妊産婦の健康管理の向上を図った。(母子健康手帳交付時に受診票を配付、医療機関に委託して実施)

- ・妊婦健康診査受診状況 (単位：人)

回数	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目
受診者数	697	699	690	713	704	708	700
回数	8回目	9回目	10回目	11回目	12回目	13回目	14回目
受診者数	695	698	648	696	534	383	235
回数	15回目	16回目	17回目	18回目	19回目	計	
受診者数	1	1	0	0	0	8,802	

- ・産婦健康診査受診状況 (単位：人)

回数	1回目 (産後2週間目)	2回目 (産後1か月目)	計
受診者数	640	734	1,374

(2) 妊産婦歯科健康診査

妊産婦を対象に口腔衛生の向上を図るため、市内の歯科医院において、歯科健康診

査及び保健指導を行った。

対象者数(人)	受診者数(人)
800	335

3 母子保健事業

(1) 健康診査

ア 乳幼児健康診査

乳幼児の健康増進及び疾病の早期発見を目的に健康診査を実施し、身体発育及び精神発達の状況を確認した。また、育児等についての相談・指導を行い、育児不安の軽減を図った。4か月児健診及び9か月児健診では、助産師を配置し、乳房トラブルの対応方法や母乳の与え方等の相談に応じ、1歳6か月児及び3歳児健診では、心理職を配置し、親子関係や発達障がいの相談に応じた。4か月児健診から3歳児健診では、栄養士による離乳食や食事に関する相談を行った。

更に3歳児健診では眼科疾患早期発見のため、屈折検査を実施した。精密検査対象となったのは全体の15.4%であり、うち有所見者は8.7%であった。未受診者については、電話や家庭訪問にて勧奨を行った。

・会場 栃木保健福祉センター、大平健康福祉センター

(ア) 健康診査

区分	実施回数 (回)	対象数 (人)	受診数 (人)	受診率 (%)	要観察 (人)	治療中 (人)	要治療 (人)	要精検 (人)
4か月児	30	805	798	99.1	93	37	2	13
9か月児	30	803	795	99.0	127	44	2	26
1歳6か月児	36	884	875	99.0	176	29	4	23
3歳児	40	1,040	1,033	99.3	221	30	40	209

(イ) 相談・指導

(単位：件)

区分	母乳相談	栄養相談	心理相談
4か月児	109	139	-
9か月児	26	197	-
1歳6か月児	-	127	148
3歳児	-	95	187

イ 2歳児歯科健康診査及び育児相談

う歯の早期発見とう歯の予防知識の普及を図ることを目的に、歯科健康診査及び歯科衛生士による歯科相談・歯科指導（ブラッシング指導を含む）を行った。また、保健師による育児相談を行った。

・会場 栃木保健福祉センター、大平健康福祉センター

実施回数 (回)	対象数 (人)	受診数 (人)	受診率 (%)	う歯のある児 (人)
29	1,028	952	92.6	26 (2.6%)

ウ 乳幼児発達相談（二次健診）

乳幼児健康診査や相談、訪問等の保健指導において成長発達の遅れが疑われた児に対し、医師による診察や専門職による相談指導を行い、児の発達の促進と保護者へ育児支援を行った。

- ・会 場 栃木保健福祉センター、大平健康福祉センター

開催回数 (回)	受診児数 (人)			結果内訳 (人)		
	初診	継続	計	今回のみ指導	再診	要治療・要精検
18	61	30	90	69	8	14

エ 乳児先天性股関節脱臼検診

3～4か月児を対象に委託医療機関において、股関節脱臼の早期発見、適切な療育指導を目的に検診を行った。

対象数 (人)	受診数 (人)	受診率 (%)	結果内訳 (人)		
			異常なし	要経過観察	要治療
737	719	97.6	702	15	2

オ 新生児聴覚検査

聴覚障がいや新生児期に発見し、早期に医療及び療育につなげることで適切な言語の取得を促すとともに、成長発達への影響を最小限に抑えることを目的に検査を行った。

対象数 (人)	受診数 (人)	受診率 (%)	結果内訳 (人)	
			異常なし	一側性難聴
741	739	99.7	737	2

(2) 健康教育

ア Hello赤ちゃん教室

妊婦、夫及び妊婦の支援者に対して、お風呂の入れ方等の体験学習を行った。

- ・会 場 栃木保健福祉センター
- ・実施数 23回
- ・参加者数

参加者 (組)	内訳 (人)		
	妊婦	夫	祖父母等
122	122	99	4

イ にこにこ教室

児の発達や関わり方に悩みを持つ保護者に対し、専門職による発達の見立て、個別相談、育児支援を行った。

- ・会 場 栃木保健福祉センター、大平健康福祉センター
- ・実施回数 23回
- ・参加者延べ数 85人

ウ 思春期保健事業

命の大切さを知り、自尊感情や自己決定能力を高めていくため、中学生を対象に、性（生）教育の授業協力をを行った。

- ・授業協力

対 象	実施回数 (回)	参加人数 (人)
		児童・生徒
中 学 校	2	190

エ だっこだっこ絵本事業

9か月児とその保護者を対象に、親子のふれあいを促進し、豊かな親子関係づくりとゆとりある育児を支援するため、絵本の配布を行った。

- ・実施回数 30回 (9か月児健康診査時)
- ・参加者延べ数 795組

オ 出前講座

地域住民や施設等からの要望に基づき、幼児期の食事や小児生活習慣病を予防するための健康講話を開催した。

- ・実施回数 12回
- ・参加者延べ数 230人

カ びよびよ交流会

出生数の少ない地域（都賀地域、西方地域、藤岡地域）に居住する乳児と保護者に対して交流会を開催し、親子の繋がりを築き、子育ての悩みを共有できるよう支援するとともに、地域の子育て情報を提供した。

- ・会 場 北部健康福祉センター、藤岡保健福祉センター
- ・実施回数 5回
- ・参加者延べ数 45組

(3) 健康相談

ア 子育て相談

育児、栄養、歯科に関する相談及び指導を行った。

- ・会 場 栃木保健福祉センター、地域子育て支援センターおおひら、
地域子育て支援センターつが
- ・実施回数 7回
- ・参加者延べ数 34組

イ 5歳児発達相談

3歳児健康診査までに発見されにくい高機能自閉症等の発達障がい等の早期発見及び支援を行うことにより、幼児の健全育成を図るため、年中児を対象に、市内認定こども園、保育園及び保健福祉センター等において発達相談を行った。

- ・実施状況 (単位：人)

受診数	結 果 内 訳				
	異常なし	要観察	既医療・既療育	要精密検査	療育機関等紹介
1,012	741	73	46	23	129

ウ のびのび相談

乳幼児健診及び相談・家庭訪問等において発達の問題や強い育児不安が見られた保護者に対して、心理職が個別相談に応じることで児の健全な発達を促し育児支援を行った。

- ・会 場 栃木保健福祉センター、大平健康福祉センター
- ・実施回数 20回
- ・参加者延べ数 49人

エ こんにちは赤ちゃん事業

生後4か月までの乳児のいる家庭を保健師・看護師が訪問し、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供等を行うとともに、3つの質問票（育児支援チェックリスト、エジンバラ産後うつ病質問票、赤ちゃんへの気持ち質問票）を用いて、母子の心身の状況や養育環境の把握及び助言を行い、支援が必要な家庭に対し、適切なサービス提供につなげた。

また、県事業である「ようこそ赤ちゃん！支え愛（あい）事業」として、地域全体で子育てを応援する旨のメッセージカードや企業からの協賛品（紙おむつ、トートバック、乳児用麦茶、おしりふき券など）を贈呈した。

対象数（件）	実施数（件）	実施率（％）
765	735	96.1

(4) 個別支援

妊娠期から育児に関する様々な悩み等に対応するため、すこやか子育て相談室及び地区担当保健師等による電話、訪問による個別相談を実施した。また、困難ケースや情報共有が必要なケースに対して、ケース検討会議等で関係機関と連携を行い支援した。

ア 個別相談

(単位：人)

	妊婦	産婦	乳児	幼児	学童以上	その他	計
訪問	99	836	778	142	200	26	2,081
面接	1,026	160	2,078	2,654	175	148	6,241
電話	239	1,156	380	893	235	109	3,012
計	1,364	2,152	3,236	3,689	610	283	11,334

※R3より、すこやか相談室・保健師・栄養士等による相談対応数を合算した。

イ 会議

参加会議 75回（ケース検討会議、生活困窮者自立支援事業調整会議等）

(5) 歯科保健事業

ア フッ化物塗布事業（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）

イ よい歯のコンクール（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）

ウ フッ化物洗口

児童のう歯を予防し、歯の健康の保持増進を図るためフッ化物洗口を実施した。

・参加学校数 6校

・参加者数 670人

(6) 給付事業

ア 未熟児養育医療

出生時の体重が2,000g以下又は生活力が薄弱な未熟児に対し、指定医療機関に委託し、養育に必要な医療の給付を行った。（県からの権限移譲により平成25年度開

始)

- ・給付認定者数 26件

イ 出産・子育て応援ギフト

全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境整備のため、身近な相談に応じ、様々なニーズに即して必要な支援につなぐ「伴走型相談支援」と「ギフト提供（経済的支援）」を実施した。

伴走型相談支援では、妊産婦に対して、妊娠届出時、妊娠8か月頃、乳児家庭全戸訪問で面談を行い、出産育児等の見通しを立て、不安の軽減を図った。経済的支援では、妊婦1人当たり5万円、出生後子供1人当たり5万円を支給した。

- ・伴走型支援（遡及対象者アンケート実施）数

出産応援ギフト（件）	子育て応援ギフト（件）
315	487

- ・ギフト提供者数

出産応援ギフト（件）	子育て応援ギフト（件）
1,031	558

新型コロナウイルス感染症対策室 感染症対策係

1 新型コロナウイルス感染症対策事業

(1) 新型コロナウイルス感染症対策本部会議の開催

庁内各部の情報共有及び感染拡大防止の強化を図るため、対策本部を設置し、各種感染症対策を決定した。また、栃木県対策本部の会議内容について、対策本部員間での情報共有を行った。

- ・開催回数 5回
- ・情報共有回数 13回

(2) 新型コロナウイルス感染症対策に関するお知らせ（新聞折込）

本市の感染症対策に関するお知らせやお願い、相談・支援などの各種情報を新聞折込により随時お知らせした。

	発行日	内容
第16報	5月29日	ワクチン4回目接種のご案内（接種対象者、接種券申請方法等） 他
第17報	6月19日	場面に応じたマスクの着用のお知らせ、ワクチン追加接種のご案内（集団接種日程等） 他
第18報	10月2日	オミクロン株対応2価ワクチン接種のご案内（接種対象者、集団接種日程等） 他
第19報	10月16日	オミクロン株対応2価ワクチン接種のご案内（接種券発送スケジュール、集団接種日程等）、オミクロン株対応2価ワクチンの効果と安全性 他

第 20 報	11 月 20 日	オミクロン株対応 2 価ワクチン接種のご案内（集団接種日程等）、乳幼児の初回接種のご案内（使用するワクチン、接種間隔等）、新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行への注意喚起 他
--------	-----------	---

(3) 新型コロナウイルス感染症対策に係る寄附の受入れ

感染症指定医療機関への支援や新型コロナウイルス感染症対策事業等に活用するため、寄附の受入れを行った。

ア 寄附金

件数（件）	金額（円）
3	292,380

イ 物品

アルコールハンドジェル、防護服等

(4) 新型コロナウイルス感染症対策基金

市が実施する新型コロナウイルス感染症対策に資する施策に要する経費の財源に充てることを目的とした基金を活用した。（単位：円）

令和 3 年度末現在高	積立金額	繰出金額	令和 4 年度末現在高
362,887,883	173,084,157	254,851,000	281,121,040

(5) P C R 検査の実施

感染拡大を防止するため、地域で活動する民生委員等及びクラスターの発生リスクが高い障がい児者施設や学校等の職員及び利用者等に対して P C R 検査を実施した。

ア 定期検査

- ・対 象 ①障がい児者施設職員
②高齢者施設・介護事業所職員
- ・検査方式 原則、プール方式で実施し、陽性であった場合の二次検査は個別方式で実施する。
- ・回 数 3 回まで
- ・実施状況

対象	回数	検査方式	被検査施設数（施設）	被検査人数（人）
障がい児者施設 職員	1 回	プール	45	843
	2 回	プール	38	684
		個別	1	3
	3 回	プール	22	378
高齢者施設・ 介護事業所職員	1 回	プール	139	2,394
	2 回	プール	116	1,817
		個別	2	8
	3 回	プール	98	1,478
個別		2	5	

イ 感染者発生時検査

- ・対 象 陽性者が確認された、下記施設の職員及び利用者等

- ①市立小学校
- ②市立中学校
- ③学童保育施設
- ④特定教育・保育施設
- ⑤障がい児者施設・高齢者施設・介護事業所

- ・検査方式 個別方式
- ・実施状況

対象	被検査件数（件）	被検査人数（人）
市立小学校	49	825
市立中学校	11	416
学童保育施設	1	71
特定教育・保育施設	0	0
障がい児者施設 高齢者施設・介護事業所	59	1,521

(6) 自宅療養者等への生活物資（食料品・日用品）の提供

新型コロナウイルス感染症に感染し自宅療養中の者及び感染を疑う症状があり行動制限を受けている者で、買い物等に行くことができない者の生活支援のため、特定の生活物資のセットを提供した。

世帯数（世帯）	個数（セット）
407	1,139

2 新型コロナウイルスワクチン接種事業

(1) 接種実施期間

実施開始の時期は、下記のとおりであり、令和5年3月31日現在、令和6年3月31日までが事業期間とされている。

ア 初回接種（1・2回目接種）

- ・16歳以上 令和3年2月から開始
- ・12歳から15歳 令和3年6月から開始
- ・5歳から11歳 令和4年3月から開始
- ・6か月から4歳 令和4年10月から開始

イ 追加接種

(ア) 従来株ワクチン

- ・18歳以上 令和3年12月から開始
- ・12歳から17歳 令和4年3月から開始
- ・5歳から11歳 令和4年9月から開始

(イ) オミクロン株対応2価ワクチン

- ・12歳以上 令和4年10月から開始
- ・5歳から11歳 令和5年3月から開始

(2) 接種方法

ア 個別接種

- ・市内協力医療機関
- ・高齢者入所施設等の入所・通所施設

イ 市集団接種

専門業者への委託により、市が実施主体となり、会場を設営し、集団接種を実施した。

- ・保健福祉センター（栃木、藤岡）及び健康福祉センター（大平、北部、岩舟）
- ・栃木市ワクチン集団接種会場（大平カインズモール内）
- ・実施状況（接種回数は本市住民登録者以外の接種、予診のみも含む）

実施期間	実施回数（回）	接種回数（回）
令和4年4月2日 ～令和5年3月18日	157	67,591

ウ その他

- ・国・県が実施する大規模接種
- ・職域接種

(3) 接種状況

ア 初回接種

(ア) 乳幼児（1・2・3回目接種）

- ・接種人数 191人
- ・接種回数 480回

(イ) 乳幼児以外（1・2回目接種）

- ・接種人数 3,906人
- ・接種回数 6,886回

イ 追加接種（3・4・5回目接種）

- ・接種人数 104,074人（内オミクロン株対応2価ワクチン接種人数 78,442人）
- ・接種回数 168,848回（内オミクロン株対応2価ワクチン接種回数 78,442回）

(4) 接種証明書の発行状況

ワクチン接種の事実を証明するものとして、国が示した様式により接種証明書の発行を行った。また、国が構築したシステムによりマイナンバーカードを用いてスマートフォンのアプリでの取得やコンビニエンスストアでの発行が可能となった。

	件数
窓口発行（紙の証明書）	1,443
アプリによる取得	11,602
コンビニ発行	167